

学位被授与者氏名	李 楠 (り なん)
論文題目	占いや血液型性格判断の機能に関する研究
論文審査結果の要旨	<p>これまでの社会心理学的研究においては、血液型性格判断の内容が科学的妥当性をもつものであるか否かが問題とされることが多かったが、本研究は血液型性格判断がなぜ流行するかを問題としたものであり、その視点からの先行研究は少なく、本研究の問題設定の希少性は認められる。</p> <p>日本において血液型性格判断の流行した複数の時代の特徴が考察され、それらの社会環境での生活者に感じられていたであろう何らかの不足が、血液型性格判断を用いることによって補われるという機能があるという仮説にもとづいて2つの研究が行なわれている。異なる社会背景で出版された書籍の内容の比較検討は興味深く、さらにアイデンティティ尺度を用いた調査によって同じ仮説から個人差に与える影響を検討したところは、柔軟な発想による独自性が評価できる。</p> <p>親密な他者との気楽な会話での話題に適するために血液型性格判断が流行すると解釈されてきた先行研究に対して、本来であれば社会的なアイデンティティの成立からもたらされるはずの、行動の指針を提供する機能を補完すると仮定したところは他の占い等の現象にも応用可能で新奇性がある。調査はそれを説得力をもって裏付けるようにはデザインされておらず、調査データの分析はやや粗雑な部分も多いが、全体としては十分な研究成果として認めることができる。</p> <p>平成25年2月19日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-301教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士(人間関係学)として十分な内容であると判定した。</p>